

顔認識能力と社会的スキルの関連についての検討

中嶋智史

(人間環境大学総合心理学部)

問題

近年の欧米を中心とした研究により、脳の器質的な障害が見られないにもかかわらず、顔認識に問題を生じる先天性相貌失認が一般人口のうち1.9～2.5%程度みられることが報告されている(Kennerknecht et al., 2007)。一方で、日本では先天性相貌失認傾向の研究は十分に行われているとは言い難い。中嶋他(2020)は、先天性相貌失認を簡便にスクリーニングにするため日本語版20項目相貌失認尺度(PI20-J)を開発し、信頼性と妥当性を検討した。そして、PI20-Jで測定される自己報告による相貌失認傾向と実際の顔認識能力に関連があることを示した。

先天性相貌失認を対象とした研究から、顔認識能力の阻害により対人関係に問題が生じる可能性が示唆されている。例えば、先天性相貌失認者では、社会における他者とのつながりの減少や自信の喪失、仕事の機会の損失などがみられることが報告されている(Fine, 2012; Yardley et al., 2008)。

本研究では、質問紙を用いて相貌失認傾向と社会的スキルの関連について検討した。仮説として、相貌失認傾向が高いほど、社会的スキルが低くなると予測された。また、相貌失認傾向は社会的スキルの中でも、特に他者との関係の開始や維持に関するスキルとの関連性が強いと予測された。

方法

調査対象者

大学生82名(男性32名、女性50名、平均年齢19.2, $SD = 0.55$)が参加した。

質問紙

本研究では、以下の2つの尺度を用いた。

日本語版20項目相貌失認尺度(PI20-J) 相貌失認傾向を測定するためにShah et al. (2015)によって開発された尺度の日本語版(中嶋他, 2020)である。20項目で構成されており、5件法(「1:全くあてはまらない」～「5:全くあてはまる」)で回答する形式となっている。

成人用ソーシャルスキル自己評定尺度(ASS) 成人のソーシャルスキルを多面的に測定するために相川・藤田(2004)によって開発された尺度

である。35項目で構成されており、因子分析により、「関係開始」、「解読」、「主張性」、「感情統制」、「関係維持」、「記号化」の6因子に分けられることが明らかになっている。4件法(「1:ほとんどあてはまらない」～「4:かなりあてはまる」)で回答する形式となっている。

Table 1
各尺度得点間の相関係数

	2	3	4	5	6	7	8
1PI20-J合計	-.107	-.210	-.232*	-.049	-.343**	-.239*	-.289**
2関係開始	-	.347**	.271*	-.015	.340**	.526**	.782**
3解読			.345**	.203	.397**	.178	.717**
4主張性				-.157	.243*	.380**	.602**
5感情統制					-.276*	-.367**	.207
6関係維持						.361**	.620**
7記号化							.563**
8ASS合計							-

** $p < .01$, * $p < .05$

結果と考察

PI20-Jの合計得点とASSの合計得点との間の相関分析を行った。その結果、PI20-JとASS合計との間に有意な負の相関が見られた($r = -.289$, $p < .01$)。従って、相貌失認傾向が高いほど社会的スキルが低くなるという仮説が支持された。

次に、PI20-J合計とASSの各下位尺度との相関分析を行った。その結果、PI20-J合計と「関係維持」との間に有意な負の相関がみられた($r = -.343$, $p < .01$)。一方で、PI20-Jと「関係開始」との間には有意な相関がみられなかった($r = -.210$, $n.s.$)。このことから、顔認識能力は初対面の人物との関係構築ではなく、他者とうまく持続的な関係を維持することに重要な役割を果たしている可能性が示唆される。

加えて、PI20-Jと「主張性」($r = -.232$, $p < .05$)、および「記号化」($r = -.239$, $p < .05$)との間にも有意な負の相関がみられた。「主張性」、「記号化」はいずれも自分の意思を他者にうまく伝えられるかどうかに関するスキルである。先天性相貌失認者では、他者とのつながりの減少や自信の喪失がみられるという報告もあることから(Fine, 2012)、他者の顔を認知できないことで、うまく自己主張することに困難が生じる可能性がある。

本研究は質問紙を用いた自己報告の結果であるため、今後は、顔認識能力が実際の社会的スキルに影響するかを検討する必要がある。